

木造都市研究会 **木愛の会** 主催

木造都市のルネッサンス

木の連歌

シリーズ part6

木造都市研究会「木愛の会」は、名古屋を拠点に研究会や見学会、提案など、木造都市実現に向けた様々な活動を行っています。会員募集中。

<http://www.kiainokai.net/>

木の連歌シリーズは、毎回異なる講師をお招きし、それぞれの木に対する思いや作品・研究をご紹介頂き、連歌方式で次の講師に引き継いでいく研究会です。初回はウィーン工科大学の谷篤子氏、第2回は大同大学の武藤隆氏、第3回は木愛の会の前代表世話人の田中英彦氏、第4回は九州大学の鶴飼哲矢氏、第5回は椋山女学園大学の清水秀丸氏からご講演を頂き、木造建築の耐火性能～多様なデザインの可能性～構造・耐震補強へと話題が続きました。第6回となる今回は、名古屋工業大学の藤岡伸子先生をお招きし、森を含めた文化史的観点まで視野を広げます。木に関する議論をつなぐ「木の連歌シリーズ」にぜひご来場ください。

代表世話人 太幡英亮 (名古屋大学)

2017年 3月21日 (火)
19:00～20:30

丸美産業株式会社 会場
本社 5階会議室

名古屋地下鉄桜通線瑞穂区役所下車すぐ

参加申込先 木愛の会事務局
kiainokai@gmail.com

定員 30名 (申込期限: 3月14日)

参加費 学生・会員: 無料 一般: 1000円

藤岡伸子氏

名古屋工業大学大学院 社会工学専攻
建築・デザイン分野

木と森をめぐる文化史

愛知県出身。東京大学大学院 総合文化研究科およびワシントン大学大学院スクール・オブ・アートアンドサイエンスを修了。2003年より「木の家スクール名古屋」代表として「木の家」のつくり方と暮らし、森と木の文化について学ぶ連続講座を継続的に開催。

今回は、木と森をめぐる文化史の話題を中心に、中津川市加子母での、山守や明治以降の独特な森づくりについてもお話し頂きます。

木の連歌メッセージ

藤岡先生へ 日本の山の木で家をつくるための木造建築講座「木の家スクール名古屋」でもお世話になっています。藤岡先生が取り組んでおられる研究テーマは建築分野だけに留まらず地域づくりプロジェクト、地場産木材の有効活用などにもおよぶ幅の広さが魅力です。その魅力を証明するように毎年、優秀かつ活発な学生さんが藤岡研に大勢入り、藤岡先生を取り巻く輪が年々大きくなっていることは、今年度より研究室を持った私の目標としたいところです。この木の連歌シリーズでも藤岡先生の研究と人間的な魅力を発揮され、更に多くの人々とのご縁の始まりとなることを期待します。 清水秀丸

